



No. 1 5

有脇小学校校長だより

平成31・2・15

## 4月に待ってるよ

2月7日に亀崎中学校，2月13日に有脇小学校の入学説明会が開かれました。4月には新しい場所で勉強を始めるんですね。子どもたちはわくわく感と同じくらい，どきどきしているはずですよ。特に中学校では，今までとは違うことばかりです。まず，毎日制服で通います。学級の数も4学級になります。17人の6年生は，1学級4から5人に分かれます。算数を数学，図工を美術と呼びます。

教科担任制（教科によって先生が違います）になります。部活動が始まります。定期テストがあります。勉強が難しくなります。つらそうなことばかり並べましたが，その何倍も何十倍も楽しいことや感動することが待っています。その多くは「協力」というすごい力がはたらく「行事」です。亀崎中学校では3大行事として，学校祭，マラソン大会，合唱コンクールがあるそうです。この他にも各学年で，



行事があります。ただこれらは，自分から積極的に関わっていかなくては感動や達成感，友だちとの友情や学級，学年としての一体感は得られません。子どもたちには「努力はたし算，協力はかけ算」と話しています。努力したことは決してマイナスにはなりません。個人がコツコツと努力したことは，決して無駄にはならないのです。しかし，協力とはたくさんの方の力が必要で，その中にももしも「協力度ゼロ」の人がいたなら，全体は「ゼロ」になってしまいます。そこが協力のすばらしさであり，難しさでもあります。中学生はいろいろなことを考えて，いろいろぶつかり合って，悩んで，協力することで生まれるすばらしいパワーを，すばらしい世界を感じ味わっていくんです。そうやって人として成長して

いくんですね。そして子どもたちが悩んだり困っていたりしたら，保護者のみなさんの出番です。みなさんは一度通ってきた道なんですよ。一緒に悩んだり困ったことを解決してあげてください。強い味方が一番近くにいるんですよ。



← 有脇小学校の入学説明会で，5年生が新入生と遊んでいます。大人と子どもほどの差がありますよね（笑）。

# ただ今横断中！



登校時に班長が使っている「横断旗」ですが、以前はビニール製で、冬になると旗の付け根が破れたり、丸まったままだったりしていました。そこで、スクールガード（学校応援団）の方が、学校名とあり太郎が印字された布製の横断旗を寄贈してくださいました。有脇の道は狭いところやカーブが多いのですが、抜け道になっているところが多く、朝は車がスピードを出して通り抜けていきます。とても危険です。毎朝、子どもたちが安全に登校できているのは、当たり前なことではないんですね。スクールガードのみなさんと交通指導員の方、PTAのみなさんが指導してくださってはいじめて安全が守られているんです。朝会で子どもたちに話をしました、「感謝の気持ちを伝えるにはどうしたらいいのか。それは元気に『おはようございます』とあいさつすることです」と。子どもたちの奇跡の命。ここでも感じることができました。

卒業の歌は「桜の季節」です 楽しみだなぁ



2月11日にPTAの役員と有志の方々11名と職員4名の総勢15名で、校舎内のペンキ塗りを行いました。2学期末に開かれた学校支援協議会で話題に上ったことを、すぐに実行してくださったのです。1階の防火扉、消火栓扉、壁、2階廊下の壁を塗っていただきました。約1時間半の作業でしたが、塗り終わった所は輝いていました。次の朝、子どもたちが登校して早速「あっきれいになってる！」と驚いていました。どんどん学校がすてきになっていきます。寒い中、本当にありがとうございました。



**名古屋弁講座第12弾** 今回もわたしがよく使う名古屋弁を紹介します。

- 「きっちきち」→「窮屈」 使用例：「このずぼんきっちきちだがね」
- 「きもい」→「窮屈」 使用例：「このズボン きもなったでいかんわあ」